九電みらいエナジー株式会社「枝幸ウインドファーム（仮称） 環境影響評価方法書」に対する勧告について

令和7年4月17日
経済産業省
大臣官房
産業保安・安全グループ

本日、電気事業法第46条の8第1項の規定に基づき、枝幸ウインドファーム（仮称）環境影響評価方法書について、九電みらいエナジー株式会社に対し環境保全の観点から勧告を行った。勧告の内容は、別紙のとおり。

また、併せて同条第3項の規定に基づき、北海道知事からの意見を勘案するよう、その写しを送付した。

(参考) 当該地点の概要

1. 計画概要

場 所： 北海道枝幸郡枝幸町
原動力の種類： 風力（陸上）
出力： 最大43,000kW

2. これまでの環境影響評価に係る手続

<環境影響評価方法書>

環境影響評価方法書受理	令和6年10月 21日
住民意見の概要等受理	令和6年12月 26日
北海道知事意見受理	令和7年 3月 13日
経済産業大臣勧告発出	令和7年 4月 17日

問合せ先： 電力安全課 一ノ宮、中村
電話03-3501-1742（直通）

九電みらいエナジー株式会社「枝幸ウインドファーム（仮称） 環境影響評価方法書」に対する勧告内容

環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法について

1. 風力発電設備の稼働に伴う騒音については、スイッチュ音及び純音性可聴度の発生状況の把握を適切に行うこと。
2. 水質の調査にあたっては、土砂の流出や濁水等による影響が懸念されることから、局所集中的な降雨の傾向を踏まえ、適切な調査地点を設定する等、適切に調査、予測及び評価を行うこと。
3. 哺乳類の捕獲調査については、十分な精度で調査、予測及び評価ができるよう、調査地域内での環境特性ごとに適正な方法で行うこと。
4. 希少な鳥類の生息、バードストライク及びバットストライク並びに移動経路の阻害等への影響について、専門家等から助言を得ながら、適切に調査、予測及び評価を行うこと。
5. 注目種については、現地調査の結果を踏まえて候補の見直しを含めて検討の上、適切に選定すること。
6. 対象事業実施区域には、植生自然度の高い植生が存在していることから、現地調査により存在する区域を明らかにするとともに、鳥類及び哺乳類等が営巣又はねぐら等に利用し得る大径木を含む樹林地を把握した上で、本事業の実施に伴う影響を予測し、評価すること。

(北海道知事からの意見書の写しを添付)